

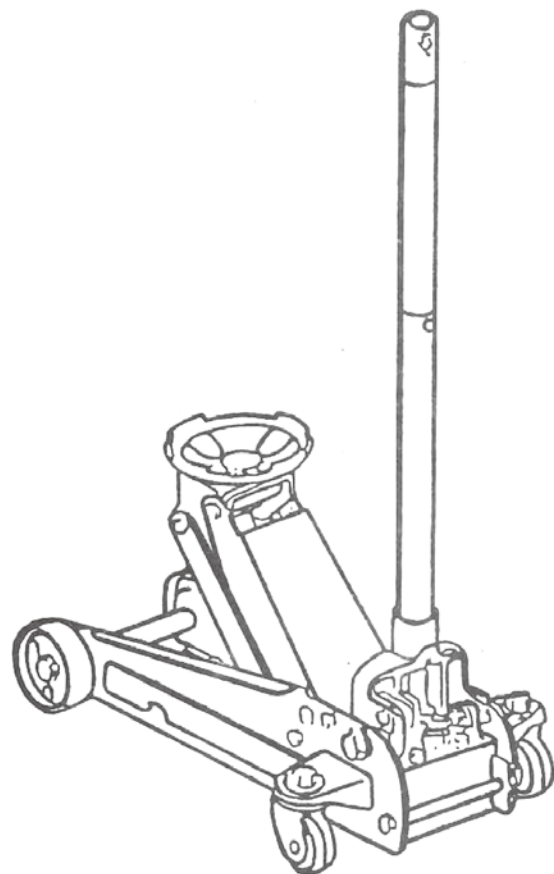
EM-04

4×4 パワージャッキ (油圧式)

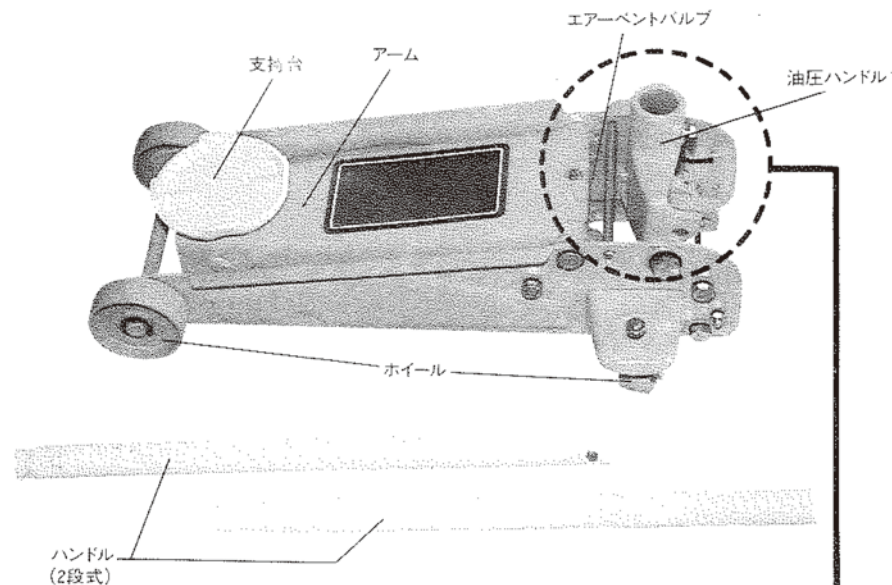
取扱い説明書

お買い上げいただきまして有難うございます。

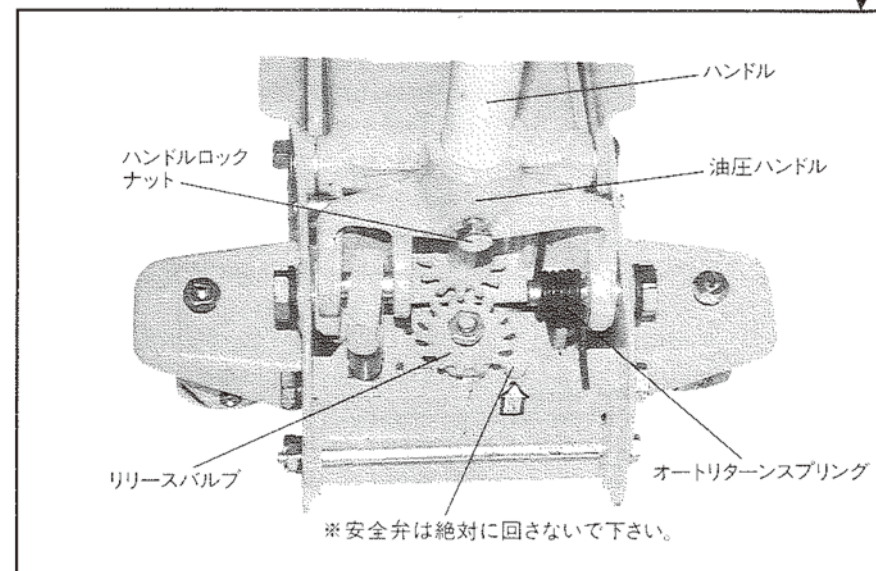
ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。



各 部 名 称



シリンダー部分拡大図



使用 方法

ジャッキを上げる

1. 付属のハンドルを油圧ハンドル部分に差し込みハンドルロックナットをしっかりと閉めます。ハンドルを右回りに回し、リリースバルブがしまっているか確認します。しまっていない場合は右回りいっぱいにして下さい。
2. 上下に動かしますと、アーム部分が上がります。
3. 支持台の中心にジャッキポイントを合わせジャッキアップします。ジャッキアップの最中リリースバルブがゆるまない様、ハンドルは回さないで下さい。

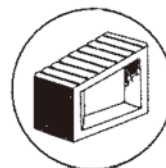
ジャッキを下げる

1. 車の下の安全を確認します。
2. ハンドルを時計と反対回りに回しますと、リリースバルブがゆるみアームが下がります。
※急に回しますと、荷重がかかっているため車が勢いよく下がりますのでご注意ください。
3. 支持台を一番下まで下げ、ハンドルでリリースバルブをしっかりとめて保管して下さい。

注 意 事 項

1. ジャッキは必ず、硬い水平な地面の上でご利用下さい。
2. ジャッキアップの際、必ず荷重が支持台の中央に掛かる様にして下さい。
3. ジャッキを上げる時や下げる時は、必ず車の下の安全を確認して下さい。
4. ハンドルは必ず付属のものを使用して下さい。
5. ホイールなどの可動部分には、時々油を差し動きを良くして下さい。

6. 使用しない時は、支持台を一番低い位置に戻し、リリースバルブを付属ハンドルでしめて下さい。油圧ピストンがシリンダー内に収納され、サビ、キズを守ります。
7. 安全弁は絶対に回さないで下さい。
8. オイルは、ESSO (又は同等の) SAE10 油圧用オイル又は、エマーソン純正オイルをご使用下さい。
※ブレーキオイル、アルコール、グリセリン、洗浄用モーターオイルなど指定以外の使用は避けて下さい。
9. 表示荷重以内の条件でご利用下さい。
10. 作業の時は、安全のためジャッキスタンドを併用して下さい。
11. 保管の際は、必ず本体の車輪を接地面側にして下さい。
タテやヨコの状態にしますとオイルもれや故障の原因になります。
※本体の改造、分解はぜったいにやめて下さい。



ご注意

油圧ハンドルストッパー

梱包の都合により、油圧ハンドルがもどらない様にストッパーがはさまっています。

ジャッキを使用される時は、以下の手順でストッパーをはずして下さい。

1. 油圧ハンドルを手で下側へ押します。
2. ストッパーをはずし、ゆつくりと油圧ハンドルをもどします。

*一度取りはずしたストッパーは、キケンごすので使用しなして下さい。
(注意事項 12. 参照)

12. 一度取りはずした油圧ハンドルストッパーを再度使用しますと、油圧ハンドルが戻る勢いでストッパーが飛んだり、手や指をはさんでしまうキケンがあります。
ストッパーは、一度取りはずしたら使用しないで下さい。
13. 油圧ハンドルはオートリターンスプリングによつて、かなりの勢いで自動的に立ちもどります。手や足をはさまない様ご注意ください。

故障かな?と思ったら、以下のチェックを行って下さい。

原 因	対 策
荷重を持ち上げない。	①リリースバルブがしっかりしまっていない。 →バルブを時計方向にしっかり締めて下さい。 ②オイルレベルが低すぎる。 →オイルを補充して下さい。
荷重を支えない。	③リリースバルブがしっかりしまっていない。 →バルブを時計方向にしっかりしめて下さい。 ④油圧系統にエア・ホコリが混入している。 →※エア抜きを行って下さい。
ジャッキが最高の位置まで上がらない。	⑤オイルレベルが低すぎる。 →オイルを補充して下さい。 ⑥油圧系統にエア・ホコリが混入している。 →※エア抜きを行って下さい。
ジャッキが最低の位置まで下がらない。	⑦油圧系統にエア・ホコリが混入している。 →※エア抜きを行って下さい。 ⑧リターンスプリングがはずれているか、老化している。 →可動部分に注油するか、スプリングを交換する。
ジャッキがスムーズに上がらない。	⑨油圧系統に空気が混入している。 →※エア抜きを行って下さい。

※以上のチェックを行っても作動しない場合や、その他ご不明の点、ご質問などがありましたら、本書記載の輸入発売元までご連絡下さい。

オイルの補充

オイルレベルが低く、オイルを補充する時は、支持台を一番低い位置まで下げ、ジャッキを水平な地面に置き、エアイベントバルブを取り外して下さい。オイルをバルブの穴より10%位まで補充して下さい。
オイルの補充が済んだら、※エア抜きを行って下さい。

※エア抜き

出荷の際、十分な品質検査を行っておりますが、運送途中ごくまれにシリンダー内にエアが混入する場合があります。その場合ジャッキアップしなかったり、途中で上がらなくなったりする場合がありますが、これらは不良ではなく、次の様な点検でご使用になれます。

- ①リリースバルブをゆるめます。左回し2～3回転。
 - ②エアイベントバルブをゆるめます。
 - ③ハンドルを差し込み、上下いっぱいに動かします。これをすばやく5～6回くり返して下さい。
- 尚、ご不明の点がありましたら、下記までご連絡下さい。